

〔トリアジフラム水和剤（フロアブル）〕

イデトップフロアブル

有効成分：トリアジフラム（化管法2種）…………… 30.0%

性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体
毒 性：－
危 険 物：－
有効年限：3年
包 装：500mℓ×4本

イデトップは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

〔特長〕

- イネ科雑草、広葉雑草など一年生雑草に対して優れた効果を発揮する。
- ヤハズソウに対しては発生前から発生初期処理で優れた防除効果を示す。
- 春処理、秋処理共に残効が長い。
- 日本芝に対する安全性が高い。

〔適用雑草と使用方法〕

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用回数	使用方法	トリアジフラム を含む農薬の 総使用回数
				薬量	希釈水量			
日本芝	－	一年生雑草	芝生育期 (雑草発生前～ 発生初期)	0.075～ 0.15mℓ /m ²	200～ 300mℓ /m ²	2回以内	全面土壌 散布	2回以内
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等		雑草発生前	0.1～ 0.2mℓ /m ²	100～ 200mℓ /m ²		植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に全面 土壌散布	

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用直前に容器をよく振る。
- 発芽後の生育が進んだ雑草に対しては効果が劣るので、雑草の発生前から発生初期に時期を失ないように散布する。
- 洋芝に使用すると薬害を生じるおそれがあるので、使用しない。
- 芝張後一年以内の芝、ターフ形成の不十分な芝、または老朽化した芝で根付きのよくないところでは薬害を生じるおそれがあるので使用しない。
- 土壌が極度に乾燥している場所には、事前に散水するか、または散布水量を多めにする。
- 周辺の植物にかかると薬害を生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草花、花木、畑作物に薬液がかからないように散布する。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木等の植栽地に流入または飛散するおそれのある場所などでは使用しない。また、樹木等有用植物の根が分布していると思われる所では使用をさける。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意

●本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。



●散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。

●公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

●使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。

●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。

●空ビンにはほ場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。

●火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。

●漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。

●移送取扱いは、ていねいに行う。

〔保管〕直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管する。

化管法に対応するその他の注意事項は別表の分類3に表示してある。

農業登録（登録番号）：エス・ディー・エス バイオテック（19758）

販売：エス・ディー・エス バイオテック